

研究課題名「術中低血圧の発生状況と臨床的予後への影響の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2020年1月1日～2021年10月31日に当院で手術中にFloTrac®を用いて循環モニタリングが行われた患者

2. 研究目的・方法・研究期間

手術中の低血圧は術後の死亡率や腎機能障害、心筋障害などの臨床的な予後悪化を招くことが報告され、平均血圧65mmHg以上を目標に血圧管理することが提案されています。しかし、ほとんどが海外における報告で本邦における術中低血圧の報告は非常に少ないのが現状です。当院における、手術中の低血圧発生状況を把握することで、そのリスク因子および臨床的予後に及ぼす影響を解析することで、今後の血圧管理の指標や対応方法を検討します。

研究方法：当院で電子カルテや麻酔記録などに保存されているデータを匿名化して抽出します。データ（FloTrac®）から全体および術式毎の手術中の低血圧の発生率を算出します。また、手術中の低血圧に関連したリスク因子（術前合併症スコア、麻酔方法、輸液量、出血量、術式、内視鏡使用の有無、年齢など）の評価、および低血圧の指標（平均血圧65mmHg以下のイベント回数・時間加重平均、閾値下面積、持続時間）と臨床的な予後（死亡率、せん妄、腎機能障害）との関係性を評価します。

研究期間：実施承認日～2023年03月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：手術中の血圧データ、年齢、性別、身長・体重、術前合併症、内服薬、術式・麻酔方法、麻酔時間・手術時間、輸液・輸血量、出血量、術後の血清クレアチニン値・尿量、せん妄の有無、死亡の有無、退院日など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院・麻酔科・藤井祐

住所：名古屋市昭和区鶴舞町65 電話番号：052-744-2340・FAX番号：052-744-2342

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科 麻酔蘇生医学・教授・西脇公俊